きりすとこどもえん　3月園だより

２０１５年度　年主題〈平和をつくる〉

0･1･2歳児３月主題「おおきくなった」

月のねがい

◎保育者や友だちと共に喜んで礼拝を守る
◎自分でやりたいという思いをもつ
◎家庭や保育者間の丁寧な連携の中で、安心して進級する

3･4･5歳児３月主題　「おおきくなった」

月のねがい

◎新しい生活へ安心して向かおうとする
◎友だちと協力し、アイディアを出し合い、工夫して遊びを充実させる
◎お互いが、かけがえのない存在であることを感じ、感謝して過ごす
◎助け合うことを大切に思い、祈る

今月の聖句「もっとも小さいものたちの一人にしたのは、わたしにしたのです。」

マタイ 25:40

この言葉が発せられた経緯を、原文のまま紹介した方が解りやすいと思います。以下原文。「王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父（神）に祝福された人たち、天地創造の時から、お前たちの為に用意されている国（天国）を受け継ぎなさい。お前たちはわたしが飢えていた時に食べさせ、のどが渇いた時に飲ませ、旅をしていた時に宿を貸し、裸の時に着せ、病気の時に見舞い、牢にいた時に訪ねてくれたからだ。』すると、正しい者たちが王に答える。『王よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て、食べ物を差し上げ、いつ、のどが渇いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。いつ、旅をしておられるのを見て、お宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか。いつ、病気をなさったり、牢におられるのを見て、お訪ねしたでしょうか。』そこで、王は答える。『はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことである。』」マタイ福音書 25 章 34 節～ 40 節

日本の諺にも「情けは人のためならず。」という同様の趣旨のものがありますが、マタイ福音書の方が具体的です。紛争や、自然災害で飢え、渇き、家を無くし、そのために丸裸となり、病気になる人が世界のあちこちで多発しています。これらの悲劇を他人事として見過ごさず、園でも、家庭でも話題にし、助け合うことに関心をもっていただけたら、これまた、やさしい心の持ち主の子どもが育つのではないでしょうか。

前理事長　池田公榮

旅立ちの春

三寒四温を経て、一雨ごとに暖かみを増してきました。記録的な寒さから穏やかな春の日々を迎えます。河津桜は満開を迎え、いよいよソメイヨシノの花がほころび始めました。一年の仕上げのときであり、喜びと寂しさのときでもあります。

四月から始まった「子ども・子育て支援新制度」も、様々な課題を覚えつつ一年が過ぎようとしています。県内の私立幼稚園では約半数が新制度へ移行しました。幼保連携型または幼稚園型の認定こども園、そして施設型給付の幼稚園への選択です。まず、保育所と同じように、運営について市町村が主管となり、経営の要となる補助金や保護者の負担金のあり方も大きく変わりました。県の運営補助から市の施設型給付になり、保護者負担は所得に応じた利用料設定となりました。特に多子世帯に対する負担は、大いに軽減されたのではと思います。以前の制度では、幼保連携型認定こども園といっても、認可幼稚園と認可保育所の集合体なので、経理処理や職員配置等は別施設処理でした。新制度では、「認定こども園」という一つの教育・保育施設に位置づけられたので、特に職員の配置や労務の改善を進めることができました。月単位の変形労働時間を取らざるを得ないので、平日における担任の休業に不安を覚えられたかもしれません。しかし、主幹保育教諭を中心としたチーム保育の実践を重ね、大きな混乱を招くことは無かったのではと検証しています。ただ、職員採用に東奔西走していますが、新卒者や資格者不足で難しい状況です。

年長児はいよいよ卒園を迎え、入学の備えが始まります。「タイケン・タンケン・タイヘン」をバネにして自分らしさを発揮して欲しいと思います。社会的な人間としての基盤は、様々な体験と友との交わりの中にこそ培われます。これから益々いろんなことに挑戦し、主体的な欲求を育んで欲しいものです。

子どもたちを忍耐強く、温かく見つめ養い育てていくことは、希望に胸ふくらませて春を待つ気持ちに通じます。多様化する時代にあっても、**一番大切なものは、いつも目に見えない**のだということを忘れずにいてほしいです。神さまの大きな愛と人々の愛に満たされ、心優しいひかりの子として歩むことが出来ますように祈っております。この一年間、保護者の方々には色々な面でご支援ご協力を戴き、誠にありがとうございました。多くの足らざるところをお詫びし、心より感謝申し上げます。

園　長

３月の行事予定

3 日（木）	誕生会（2･3 月生まれ）
5 日（土）	参観日（ひかり組
8 日（火）	参観日（のぞみ･あい組）
19 日（土）	第 58 回卒園式
22 日（火）	修了式（１号午前保育）
23 日（水）	入園準備説明会
30･31 日	休園日（新年度準備の為）

４月の行事予定

7 日（木）	始園式（１号午前保育）
9 日（土）	入園式
	田植え
	交通安全教室

魔法の砂の時間

桃の節句も近づいて、いよいよ春の訪れですね。

暖かくなってくると、園庭で再び"魔法の粉"遊びが盛んになってきました。そう、例の泥団子作りです。

先日、TBS の番組「池上彰のテレビ未来遺産」で、"細菌･ウイルス大疑問"の特集があり、私も視聴いたしました。そこでは、「泥あそびは免疫力の強化にも繋がります！」という免疫学の第一人者である藤田紘一郎氏（東京医科歯科大学名誉教授）の研究の映像が流れていました。都会の保育園では、園バスに乗ってわざわざ泥んこ遊びをするために出かけるそうです。

子どもたちは、園庭のいたるところに広がって、友だちと相談しながら泥団子が出来る土を探して走り回ります。その姿は子ども本来の無我夢中になって遊ぶたくましい姿です。自分で作って、壊れないか試して、壊れたらまた最初から挑戦して･･･、本当によく遊びます。

子どもの遊びには意味があると言われますが、どろんこに夢中になって遊びながら体を鍛え、無意識に脳も鍛えていたのです！なんとすばらしい事でしょう！

今年はインフルエンザの感染が3月に入ってから増えてきそうです。基本的な生活習慣と共に、免疫力を高めるために出来ることも、皆さんと一緒に実践していけるといいですね。

園長

親子触れあい体操のすすめ